

平成 30 年 7 月 14 日

芦屋市企画部市民参画課
課長 浅野 令子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

実施報告

- 1 事業名:第 11 回あしや市民活動フェスタ「未来つくる芦屋たぶん 100 人会議」
- 2 実施日:平成 30 年 6 月 23 日(土)
- 3 担当:横山 宗助
- 4 参加者数:58 名
- 5 内容
 - (1) 目的:芦屋への想いを若者と市民活動団体が、All 芦屋で知恵を出し合い語り合い、アイデアを実現し、次世代へつなぐ。
 - (2) テーマ:あなたは“まちの何がかり”?
 - (3) 内容:10:30~ 開会
11:00~ 基調講演「BE の肩書きって?」 兼松 佳宏氏
(京都精華大学特任講師、元 greenz.jp 編集長)
11:45~ クロストーク「まちには“何がかり”がある?」
三宅 正弘氏(武庫川女子大学 准教授)
加藤 裕介氏(Ashiya.city 編集長)
12:30~ ランチダイアログ
13:15~ ワークショップ
16:00 閉会
~16:30 写真撮影
 - (4) アンケート結果:
 - ・有意義な時間を過ごせました。
 - ・西宮市の NPO 部会とは大違いです。
 - ・ただ話を聞くだけではなく、考えたり、人からの意見をもらえるのがとても良かったです!
 - ・自分の隠れた部分が見れてよかったです。
 - ・自分のことを語る機会があまりないので良い経験になりました。
 - ・日常使わない脳、感性がフル稼働した感じ。良い気付きとなった。
 - ・チラシのデザインが良かったです。
 - ・有意義で楽しい時をありがとうございます。
 - ・全体的に和やかな雰囲気です。スタッフの対応が素晴らしい。
 - ・長時間だったが短く感じました。
 - ・説明、ワークショップとも分かりやすかったです。
 - ・沢山の方と意見交換できる機会となりました。ありがとうございました。
 - ・兼松先生はものすごくよかったです(実はたいてい講師なんて嫌いなんです)

- すが) ワークの進め方もよかったし、スタッフもみんな良かったと思います。イベントのもち方が明確なのでやる気のある人が集まったと思います。
- ・チラシがすごくかわいくて良かったです。スタッフは大変だったと思います。ありがとうございました。ご苦勞に報いられるよう少しでもステップアップしたいです。
 - ・半生を振り返ることで幼少期のことがベースになっていたことが分かったような気がする。
 - ・BE から D0 の肩書きが見つかった気がします。とても流れのよい講座でした。兼松先生ありがとうございました。
 - ・芦屋にセレブの街みたいな上っ面な会議だとつまらなさそうだけど、人の内側をみていくのが面白かったです。それがどうまちと関わっていくのかなと興味深々でした。
 - ・同じ星座の人とグループになるというのも斬新だったし、そのグループの人が思いがけない共通点があって面白かったです。
 - ・はじめてのトライ。自分の整理ができました。
 - ・行政の人も参加されていて、芦屋のまちの未来が明るいと思いました。
 - ・無から形をつくりだしていく、地域の魅力を引き出していく。集うことで生み出せる可能性を実感できる場となった。
 - ・とても楽しくあっという間の時間でした。またこの機会があったら関わっていきたいと思います。
 - ・楽しかったです。魚座の3人の出会いも印象深いです。ありがとうございました。
 - ・まちの福祉家見習い。目指したいです。地域支え合い推進員として頑張りたいです。
 - ・ワークショップ楽しく参加できました。
 - ・スタッフがいい。
 - ・自分も含めて皆さん元気で活気ある時間になりました。団体ではなく個人で参加するのはいいですね。
 - ・自分自身の信念と今やってるいることの満足感。
 - ・視座を変え、視点を変えて自分自身の活動の見直しが出来ると感じた。芦屋らしい活動のやり方を工夫したい。
 - ・自分を見直す自分が他との関わりを見直す、自分のコミュニティでの関わり方を再確認する。しいては自団体の地域での関わりについて新しい発見があったように思います。
 - ・新しい視点の講座がとても新鮮で考え方の手法も面白かったです。
 - ・楽しかったです。自分の人生を振り返り、今の自分の関心ややりたいことを整理することができました。
 - ・今日の出会いを今後につなげていきたいです。

- ・大満足。時間があつたという間でした。自分の再発見になりました。いろんな方々と交流ができてとても楽しかったです。
- ・個人でできることは限られていますが、より良い活動のために私ができることがあれば、と思っています。全くお話ができなかった方も多数いらっしたのが残念でした。
- ・自分の知らなかった「わたし」に出会えた。BE と DO が混合している人生だったがそれも幸せなことだなあと感じた。
- ・「わたしはこういう人間だろう」とおもっていても人から見るとまだまだ知らない部分があつたことに気づいた。いろんな側面があり。
- ・いろいろの人の出会いがあつて楽しかったです。元気をもらいました。自分のBEの部分小さくなつていたので大きくできたらいいなと思ひました。
- ・基調講演の内容やワークショップとても勉強になりました。また芦屋にきて4年目でなかなか芦屋市民の方と交流する機会があまりなかつたのでこのような機会があつたことが嬉しかったです。
- ・気軽に参加者の思いや気持ちを引き出せる内容であることに感心した。
- ・BE!! と DO!! 新しい発見です。
- ・楽しい時間でした。
- ・充実してて自分を客観的にみれてよかつた。
- ・とてもよかつたです。またこのような楽しいイベントを楽しみにしてます。
- ・兼松さんの世界と芦屋のまちのことだけかと思ひてましたが参加者のまちのかかわり、かかわり方を知ることができてとてもよかつたです。
- ・姫路からの参加ですのでなかなか関われそうになく残念です。今日は勉強になりました。ありがとうございました。
- ・兼松先生の「BE」の考え方で心の整理がついた。
- ・兼松先生の講義をまた受けたい。
- ・皆が楽しみながら会議に参加していたし、何より私がすごく楽しかつた！！
- ・めっちゃ良い企画。考えたスタッフの方々お疲れ様でした。
- ・BE の部分を振り返り続けるという言葉が印象的でした。自分の根幹となる部分を作つていると思うので自己分析をしていきたいと思ひました。
- ・深いコミュニケーションがとれたと思う。

(5) 効果：

- ・参加者同士のつながりが多くできた。
- ・市民活動をスタートするきっかけとなつた参加者がいた。
- ・多岐にわたる活動、想いを整理できた参加者がいた。
- ・リードあしやの認知度があがつた。

(6) 今後の対応：

- ・当日の様子を10分以内のダイジェスト版動画にまとめ、youtube等にアップして、さらなる拡散を行い参加できなかった人にも伝えていく。

- ・当日、ワークショップで決めた〇〇係を写真撮影しているので、ネットワークをさらに広げたり、市民活動を促進するため、小冊子にまとめる。
- ・参加者が市民活動をはじめるにあたっての個別相談にも対応する。
- ・参加者で類似の〇〇係があるのでマッチングを行う。
- ・ふれあいカフェ 7/14（土）に参加者の振り返りの場を設ける。

(7) 事務局振り返り

<良かったこと>

- ・基調講演のテーマ「BEの肩書き」を参加者に理解してもらうこと、またそれがなぜ市民活動につながるのかを伝えることがうまくできた。
- ・開催時間が6時間〜と長かったが、内容が充実しており、また随所に飽きさせない工夫をしていたので、体感時間は短かったという意見が多かった。
- ・ターゲットにしていた30,40代、フリーランス、アクティブシニア、普段リードあしやに来館しない人などが多くみられ、新たな層の開拓となった。
- ・グラフィックレコーディング、フェイスブック宣伝、グーグルフォームなど新しい取り組み、集客ができた。

(フェイスブックイベント>リーチ 3975 回答数 113)

- ・フェスタ開催後も SNS 等で話題となり多くの拡散ができたため、リードあしや、市民活動フェスタの認知度が上がった。
- ・昨年の反省を活かし、学生の割合が少なかったので実際に市民活動をしている、する人が主体となった。

<悪かったこと>

- ・クロストークの打ち合わせがほとんどできず、ぶっつけ本番となったので「芦屋のまちのことを知ってもらう」ことはあまりできなかった。
- ・約半数は市外に住む人からの参加だった（芦屋を職場にしている人など）
- ・当日受付をしなかったため、参加状況の把握が難しかった。

